

わらどん

令和2年6月30日
発行責任者
早川北小学校
校長 丹沢伸也

北小2つの柱がスタート



六月十六日火、民話劇づくりのための学習を行いました。今年度は、黒桂地区に伝わる地域行事「デクころがし」を基にした物語を行います。黒桂在住の藤本 勝さんを学校に招き、藤本さんが子どもだった頃と、藤本さんのお子さんの時に行った「デクころがし」の様子について話していただきました。その後、児童は用意した質問をして学習を深

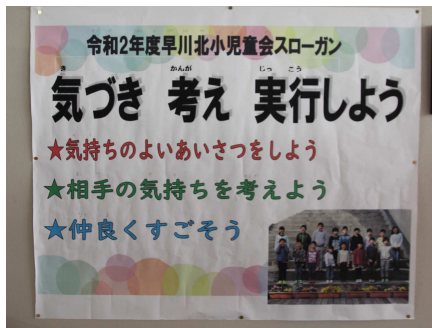
民話劇取材

「デクころがし」を学ぶ

梅雨の合間の朝、青空の下の山々や、そこにたちこめる雲を眺めると、気持ちさわやかに、心が洗われるような思いがします。このときばかりは、コロナウイルスのことも、一瞬他所のことに思われ、早い終息を心より願うばかりです。

旧児童会会活動 始まる

今年度の児童会活動もスタートしました。スローガンは、「気づき考え 実行しよう」。臨時休業のため児童総会は開けず、紙面での決議となりましたが、活動が始まり、十八日(木)には、今年度第一回目の「北小会議」も行われました。四、五月の目標の反省の後、六、七月の目標を「すすんであいさつをしよう」と決めました。本部提案の「良いいあいさつを見かけたら紙に書いて紹介しよう」という「あいさつの玉手箱」に現在取り組んでいます。この日の北小会議では、一年生から六年生まで、一人一人



紹介しよう」という「あいさつの玉手箱」に現在取り組んでいます。この日の北小会議では、一年生から六年生まで、一人一人

BEANS 第一回フィールドワーク

北小の特色あるもう一つの活動の、BEANS(野外観察活動)のフィールドワークも十五日(月)に始まりました。今年度、野鳥公園に初めて出かけ、現地のスタッフに指導してもらいながら、二時間の観察活動を行いました。調べるテーマによって「鳥班」「獣班」「昆虫班」「木の

実・苔班」に分かれ観察活動を行いました。昨年度から活動を継続して行っているため、野鳥公園のスタッフも、児童のことや、昨年度調べたことをよく承知しているようで、会話にも「さん、去年調べたのは...だったよね?」というやりとりが行われていました。地域の中で継続的



な取り組みができてきていることに大変感心させられました。これから、毎月回のペースで観察を続け、二学期後半からレポートづくりを行います。こちらも、どのような研究発表になるのかとても楽しみです。

が、自分の意見をはっきり、他の人にも伝わるように発表してました。月に一回、全児童が集まって話し合う「北小会議」も、北小の特色あるすばらしい活動の一つだと思えます。七月には、全校お楽しみ会も計画しているようので、準備を進めています。



NIEも始まりました

本校の教育活動の他の特色の一つにNIE(News in Education) *新聞を活用した教育があります。新聞を授業や様々な活動で教材として使い、児童の情報収集、読み取り、活用能力を伸ばそう、という活動です。十一日(木)の朝活動で、担当の先生から説明を受けて、NIEの取り組みが今年も始まりました。北小には、二階に児童が利用できるよう新聞を三紙常時置いてあり、また、児童が作成した、新聞を使った「クイズコーナー」やNIEの紹介コーナーがあります。新聞をよく読む子どもは、コミュニケーションの力も



あり、友達が「多い」というような調査結果も出ています。新聞は社会を眺める「窓」です。多くのことを学んで欲しいと思います。

理科・図工室へ エアコンが設置

校舎二階、理科室・図工室のスペースにこの度町の予算で、三基のエアコンを設置していただきました。普通教室にはすでに設置されていますが、特別教室でも快適に学習に取り組むことができるようになります。心より感謝します。今年度は、コロナウイルス感染症対策のため、エアコン使用時も定期的に換気をしたり、必要でないときは適宜マスクを外すような指導をしながら、熱中症にも気をつけながら取り組んでいきたいと思っております。



お知らせ

○夏季休業短縮・水泳授業中止
新型コロナウイルス感染症拡大防止の取り組みとして、夏季休業期間を、八月一日～二五日までの間までと短縮しました。また、今年度は水泳の授業は実施せず、プールの開放も行わないこととしました。

○早川北小のホームページ更新
本校のホームページを新しくしました。地域の方も、是非ごらんいただければと思います。

○中州地区の深澤愛子様より、児童にと、育てたジャガイモをいただきました。児童に渡すとともに保護者にもお知らせしました。毎年のご厚意で、地域の方の温かい心遣いに、こころよりお礼申し上げます。